

政策名	4環境にやさしい港		責任者	企画調整室 環境担当課長	連携担当課
基本施策名	05人と自然にやさしい港湾環境づくり				
個別施策名	17良好な港湾空間を維持・創出する				
事務事業名	09港湾環境啓発活動の推進		連絡先	052-654-7819	

### 1 PLAN(目的・概要)

目的	県市民及び港湾関係者に名古屋港の環境への取組みについて関心を持ってもらうようにします。	事業期間	平成16年度～継続
概要	環境学習への協力や各種イベント等の機会を活かし、パンフレット配布等の環境啓発活動を行います。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

### 2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】	・22年度は、環境デーなごや、メッセなごや、COP10、環境学習を行いました。 ・23年度は、環境デーなごや、メッセなごや、環境学習を行う予定です。								
活動指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
環境啓発活動実施回数	単位	目標	4	4	2	3	3	3	各種イベント等において実施環境啓発活動の回数
	回	実績	4	4	2	4			
事業費	単位	目標							
		実績							
人員	正規職員	単位	千円	290	1,224	570	3,941	0	
			人	0.10	0.10	0.10	0.57	0.57	
人員	嘱託職員	単位	千円	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業費・人件費の合計	単位	千円	869	877	858	4,834	4,997		
		人	1,159	2,101	1,428	8,775	4,997		

### 3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
パンフレット等の受取人数	単位	目標	2,000	2,000	1,000	4,800	800	1,200	名古屋港の環境への取組を紹介したパンフレット等を受け取った人数 ※22年度はCOP10開催年
	人	実績	2,000	1,900	750	6,250			
	達成率(%)	100.0	95.0	75.0	130.2				
観点	単位	目標							現状の「見える化」
		実績							
観点	達成率(%)								その他特記事項
必要性	組合関与の必要性	有・無	有・無						
	目的・水準の妥当性	有・無	・港湾を含んだ地域の環境改善を図るためには、環境学習への協力や各種イベント等の機会を生かした啓発活動は必要な事業です。						
有効性	利用者などの対象者ニーズ	有・無	有・無						
	成果の達成度	有・無	・不特定多数の人が集まる環境関係のイベントを活用した啓発活動は有効です。						
効率性	内容の妥当性	有・無	有・無						
	実施主体の妥当性	有・無	有・無						
	受益者負担の適正性	有・無	・港湾環境の改善を図るためには、港湾管理者が行わなければならないと考えることから、実施主体として適当です。						
経済性	有・無	有・無							

### 4 ACTION(取組)

今後の事務事業の方向性	今後の取組の方向性		今後の取組の方向性の判断理由
継続	成果	コスト	環境啓発活動は継続的に取り組む必要があるため。
	維持	維持	
今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)			
引き続き、既存資料を有効に活用し、効果的な環境啓発に努めます。			